

## 組織目標の見直しを行ないました

2013年3月の第1回定例総会では「KESTESのあり方を考えるワークショップ」を実施しました。これは、それまで組織の目標やビジョンが共有されていない(曖昧なまま)でそれぞれの事業が展開されているという問題意識から幹部を中心に企画されたものです。ワークショップでは、4つのテーマについて意見を出し合い、その内容を元に幹部で協議し、5月末に委員長より組織目標が発表されました。

### 組織目標:

教育を通して生徒ひとりひとりが夢を実現することを支え、ケニア社会のよりよい発展に貢献する

1. 家庭の事情により教育の機会に恵まれない子どものセカンダリースクール就学を支援し、子どもの夢や自己実現を支える
2. よりよい社会を作っていける優秀な人材の創出に寄与する
3. 日本とケニアの交流や相互理解を促進し、お互いのよいところを学び合う
4. 青年海外協力隊ならではの支援や制度の在り方を模索し、より質の高い支援を目指す
5. KESTESに対する認知や理解の向上に努める
- ⑥ 共通の目標に向かい、メンバー1人1人が何ができるのかを考え行動し、組織の円滑な運営に努める

## 組織再編行なう!

組織目標への対応、収益の安定化を目的に、8月の2回定例総会総会にて幹部より組織再編の提案があり、以下が決定しました。

- 組織再編後の班編成は、会計、物販事業、広報、総務、イベント・企画の5班とし、各班の各事業は組織目標の達成や収益安定化に関わるものとして明確な位置付けが求められる
- 奨学生年間採用数を8名程度とし、毎年2名の卒業生を出すことを当面の目安とする
- 当面の年間収益の目標額をKsh.400,000とする

## 奨学生成績

- David Clinton : C 31人中6位
- Charo Lemick Thoya: B+ 33人中5位
- Moyi Tiberius Mgendi: B 423人中107位
- Ochieng Tiberius Odero: C+ 304人中194位
- Moshin Fatuma Swaleh: B+ 127人中26位
- Bonface Mwika: B 189人中11位
- Odero Javier Pharesh: C+ 495人中212位

## 新KESTES奨学生2名誕生

8月に行われた定例総会において、新たに2人の奨学生を支援することを決定しました。今回は、5名の候補があり、その中でKESTES委員の理解を最も得た2人です。

### ファトゥマさん(14歳)

Moshin Fatma Swaleh

担当者：藤城友昭隊員(平成23年度4次隊)

所属校：Memon High School

成績：A- クラス26位/125人、KCPE 365



ファトゥマはモンバサに母、妹と暮らす、14歳の女の子です。彼女の通う学校は昨年のKCSE全国統一試験上位校ランキングで全国52位にランクインするほか、個人ランキングでも全国トップ100入りする生徒を排出するなど、モンバサ屈指の名門校で、これまでに多くの優秀な人材を社会へ排出してきました。今年の2月に母親から問い合わせがあり、実際に会うことになったのですが、「外国人と話しをするのが初めてなのでとても緊張している」と下を向きながら、ガチガチに緊張する彼女の姿を見て、ふと自分が中学生だった頃を思い出し、どこか微笑ましく感じた最初の出会いでした。一通りの事情を聞いたあと、彼女と母親に「今学期、B+以上の成績を取ったらKESTESに推薦する」という約束をしてそのときは別れたのですが、3ヶ月後、なんと彼女は2教科を除く全科目でオールAを取り、総合A-という好成績を収めました。このチャンスを逃すまいと必死に猛勉強したそうです。この成績を収めるには相当の努力をしたでしょうし、実際に結果を残した彼女の努力は評価に値します。そんな彼女には今後はKESTES奨学生として、このハイレベルな環境でよりいっそう勉強に励み、夢を叶えて欲しいと思います。彼女の将来が楽しみでなりません。(藤城友昭)

### ティベリアス君(15歳)

Ochieng Tiberius Odero

担当者：濱田裕介隊員(平成24年度3次隊)

所属校：Orero Secondary School

成績：B- 学年266位/311人、KCPE 356



ティベリアス君は私の配属先小学校の卒業生であり、校長先生から紹介をうけたのがきっかけで今回KESTESに推薦しました。私の配属先には孤児や家庭環境が厳しい児童が多数在籍しており、彼らの授業料や生活費は校長先生がスポンサーとなって支援しています。ティベリアス君もその一人で小学校の寮に住み、校長先生の家の手伝いと勉強を両立して、2012年のKCPEでは356点をマークしました。セカンダリースクールに入学してからも、休みになるとすぐに彼がお世話になった私の配属先小学校に来て、朝から晩まで畑を耕し、水運びや食事の準備等も積極的に手伝っています。彼の長所はひたむきに勉強やスポーツ、手伝いに打ち込む所です。決して器用な子ではないですが、コツコツと努力を継続する彼を見ていると、将来弁護士になって家族を支えたいという大きな目標も夢ではないなと感じます。KESTESを通して彼と共に私自身も成長していきたいと思っています。そして今回彼をKESTESの奨学生として承認して下さったKESTES委員会の方々に心から感謝しております。(濱田裕介)

## ソトコトサファリマラソン、KESTESブース出展

今年もソトコトマラソンにてKESTESブースを出店し、KESTESグッズ、古着品バザー、及び3名のKESTESメンバーによる隊員活動関連商品の展示販売並びにチャイ販売を行いました。あわせて、KESTES紹介のポスター、日本とケニアの比較ポスターの展示、KESTES紹介リーフレットの配布をしました。イベント開催日が7月7日だったので、日本人学校の笹を頂戴し、来訪者に短冊に願い事を書いて頂きました。昨年に引き続き、JICA職員の皆様にご協力頂き、マラソン参加者へ特別ルールを決め、それを達成した場合にKESTESに寄付をして頂く「チャリティーマラソン」をイベント企画として実施いたしました。

今回、物販では20,980シルを稼ぎ、ブース寄付では6,360シルをいただき、チャリティーマラソンではなんと45,000シルの寄付をいただきました！以上の合計額から経費を差し引きいた61,000シルが奨学生の支援金となり、1イベントとしてはKESTES史上、最高支援額となりました！

今年は10kmマラソンの実際の距離が11.8kmだったという、なんともケニアらしいオチつきでしたが、ハーフマラソンも含め、参加者全員が完走出来ました。

今回のイベントを通してKESTESに応募してくれた方々がいたり、今後もイベントを通してKESTESの支援金集め及びKESTESのケニアでの更なる認知度向上に努めていきます！！

日付	項目	収益(Ksh)
2013/07/07	ソトコトマラソン販売利益	9,530.00
2013/07/07	チャリティーマラソン	42,500.00



## 新メンバー加入

KESTES新運営委員加入！

2013年7月に25年度1次隊の11名が新しくKESTES運営委員に加入し、総勢31名体制となりました。新運営委員を紹介します（五十音順・敬称略）。

- ・赤堀友希（村落開発普及員）
- ・大田真弓（エイズ対策）
- ・畔柳風花（青少年活動）
- ・小出真理子（栄養士）
- ・笹原千佳（森林経営）
- ・炭しおり（村落開発普及員）
- ・長谷川大（青少年活動）
- ・堀泰洋（環境教育）
- ・望月彩葉（森林経営）
- ・安田葵（村落開発普及員）
- ・吉岡夏子（村落開発普及員）

# KESTESグッズ

カラーバリエーションも増えました！  
パステル・ピンク、紫、水色、グレーが新加入。



- ・ポロシャツ1枚 1,200 Ksh
- ・Tシャツ1枚 1,000 Ksh
- ・ボールペン1本 100 Ksh



KESTES Facebookグループページから奨学生の近況やイベントの予告、開催報告など、KESTESメンバーからリアルタイムの情報を随時投稿中！是非Facebook上で「いいね！」ボタンを！

<http://www.facebook.com/pages/KESTESKenya-Students-Educational-Scholarship/337361126287729>

KESTES委員31名・奨学生7名(2013年10月現在)  
Kenya Students' Educational Scholarship

HP: <http://jocvkestes.wordpress.com> 問合せ先: [kesteskenya@gmail.com](mailto:kesteskenya@gmail.com) 執筆: 福田 昭子 (23-4)・村田 菜美(23-4)